

実験名称	山形－九州間、鉄道活用実証実験							
実験概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックによる長距離輸送を鉄道輸送にシフト</li> <li>・専用容器を使用し振動による影響を軽減</li> </ul>							
申請者	荷主等	(株)旭硝子ファインテクノ			物流	日本貨物鉄道(株)東北支社 米沢合同運送(株) エイジー物流(株)		
実験期間	H17年1月～H17年12月（1年間）							
輸送経路	現行	米沢←(トラック)→福岡、北九州						
	転換後	米沢←(トラック)→山形コンテナセンター←(トラック)→宮城野駅←(鉄道)→北九州 タ、福岡タ←(トラック)→福岡、北九州						
貨物	品目	福岡・北九州行き：液晶用ガラス基板 米沢行き：空容器			貨物量	福岡行き：2,000トン 北九州行き：2,400トン		
CO2 排出量	現行	1,748.0	転換後	430.9	削減量	1,317.1	削減率	75.3%
		t-CO2/年		t-CO2/年		t-CO2/年		
補助金 申請額	7,570,666円							
施策効果	174.0 t-CO2/百万円・年							
備考	復路は空容器							

(C)Aries 1993

